



地方公共交通を活用したまちづくり

地鉄空間の再解釈と
「おおかみこどもの雨と雪」を通
じた町内の観光資源の
再発見

柿嶋七海 氣賀慎太郎
黒澤蓮南 倉橋琴音



目次

- 提案の概要
- **提案①〈内部へ〉 地鉄の空間そのものを愛でる**
 - コワーキングスペース
 - 読書時間
 - ミュージック鈍行バー
- **提案②〈外部へ〉 「おおかみこどもの雨と雪」を通じた観光資源の再発見**
 - 背景のリサーチ
 - マップ
- まとめ

提案の概要

内部に向けたアプローチ

※内部＝富山地方鉄道沿線の住民

地鉄の空間そのものを愛でる

輸送手段以外の面で、車内の
空間そのものに価値を見出す
提案

外部に向けたアプローチ

**「おおかみこどもの雨と雪」を
通じた観光資源の再発見**

上市町の景色自体が「聖地」で
あるとし、景色に浸ることので
きる移動時間も主役と捉えた観
光ルートを提案する

提案の概要

内部に向けたアプローチ

※内部＝富山地方鉄道沿線の住民

地鉄の空間そのものを愛でる

輸送手段以外の面で、車内の
空間そのものに価値を見出す
提案

外部に向けたアプローチ

**「おおかみこどもの雨と雪」を
通じた観光資源の再発見**

上市町の景色自体が「聖地」で
あるとし、景色に浸ることので
きる移動時間も主役と捉えた観
光ルートを提案する

地鉄の空間そのものを愛でる

〈背景〉

地鉄を残すためには、持続的に乗ることが必須

根本的な解決には、**地元住民による継続的な利用**が必要である



- ①移動手段として、**車にはない強み**を引き出す
- ②電車の**移動手段として以外の付加価値**を見出す

地鉄の空間そのものを愛でる ー ①

ガタンゴトン・カタカタ

走る車内をサテライトオフィスとして使用する。

ターゲット

出勤時に車を利用している層 / オフィスワーカー

仕様

電車内でのPC作業環境を整備し、電車内の作業時間を企業での就業時間に換算できるように協力を依頼する。**通勤時間はもちろん、日中にも気分転換の意味を兼ねて電車で作業することが出来る。**

- ・通勤時間という給料の発生しない拘束時間の解消
- ・朝の電車のタイミングを遅らせられることで、通学ラッシュの回避
- ・社員の労働環境の改善と同時に、地元への貢献とそのアピールが可能になる



地鉄の空間そのものを愛でる—②

READ & RIDE

地鉄の贅沢な景色を眺めながら、ゆっくり本を読める電車

ターゲット

電車で周遊しながら読書時間を過ごしたい人
通勤・通学で本を読みたい人

仕様

- 駅に本棚を設置。感想などを自由に共有できる落書きボード(ホワイトボード)を設置。
- 本にICチップを埋め込み、専用のアプリでどの本がどの駅にあるかリアルタイムで分かる。
- 運賃のルール
 - 移動手段として利用する場合(到着駅で改札を出る場合):通常価格
 - 電車で周遊して本を読み、元の最寄り駅に戻ってくる場合:割安な価格



地鉄の空間そのものを愛でる — ③

ジャズ・エクスプレス

走る車内を夜行バーとして利用する

ターゲット

通勤帰りのしっぽり一人飲み / 静かなデート場として

仕様

走る車内を夜行バーとして活用する企画である。

ワンドリンク付きのチケットを購入し、目的地まで飲み物と車窓を楽しむ。

揺れやこぼれ、騒音への配慮として電車はあえてゆっくり運行し、2車両のうち片側をバー専用車両とすることで一般利用者とのすみ分けを行う。

提供するの富山ならではのドリンク。ここで味を知ってもらい、今後の消費促進にもつなげていく。

提供ドリンク例



クロモジ
ジン

上市生姜の
クラフト
コーラ

日本酒



地鉄の空間そのものを愛でる まとめ

電車に乗ることの主目的は「移動」であり、**そこで流れる豊かな時間は副次的なもの**と捉えられている。



車では実現できない特徴が電車にはある。それこそを主役に引き立てることができないか？

提案の概要

内部に向けたアプローチ

※内部＝富山地方鉄道沿線の住民

地鉄の空間そのものを愛でる

輸送手段以外の面で、車内の
空間そのものに価値を見出す
提案

外部に向けたアプローチ

**「おおかみこどもの雨と雪」を
通じた観光資源の再発見**

上市町の景色自体が「聖地」で
あるとし、景色に浸ることので
きる移動時間も主役と捉えた観
光ルートを提案する

『おおかみこどもの雨と雪』を通じた観光資源の再発見

〈背景〉

年間約1万人の観光客が訪れるが、「花の家」だけをピンポイントで訪れている人が多い

間違えて車で訪れてしまう方がいたりなど、地元の方に負担をかけてしまう場面もある。聖地巡礼で訪れた方も、移動手段がなく長距離歩いているケースがある。

→観光地として案内できるように整備した方が、地元の方・観光客ともにハッピーなのは



「おおかみこどもの雨と雪」を通じた観光資源の再発見

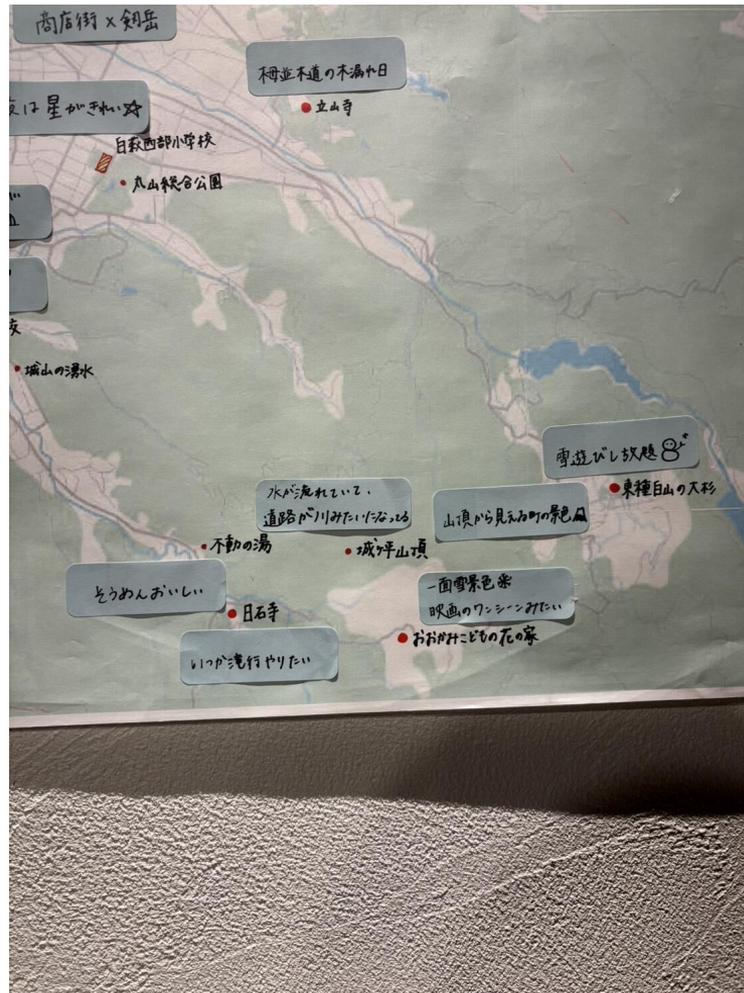
「おおかみこどもの雨と雪」の聖地巡礼における本質は、各スポットを単体で見ることではなく、**上市町全体を知ること、上市町の空気に浸ること。**

そう考えると、聖地巡礼の「移動時間」に価値を見出すことが出来る。
本提案ではその移動時間をデザインした聖地巡礼のルートを提案する



上市町を「点」でみる観光→「線/面」的に楽しめるようにするための設計





1年間のスケジュール

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

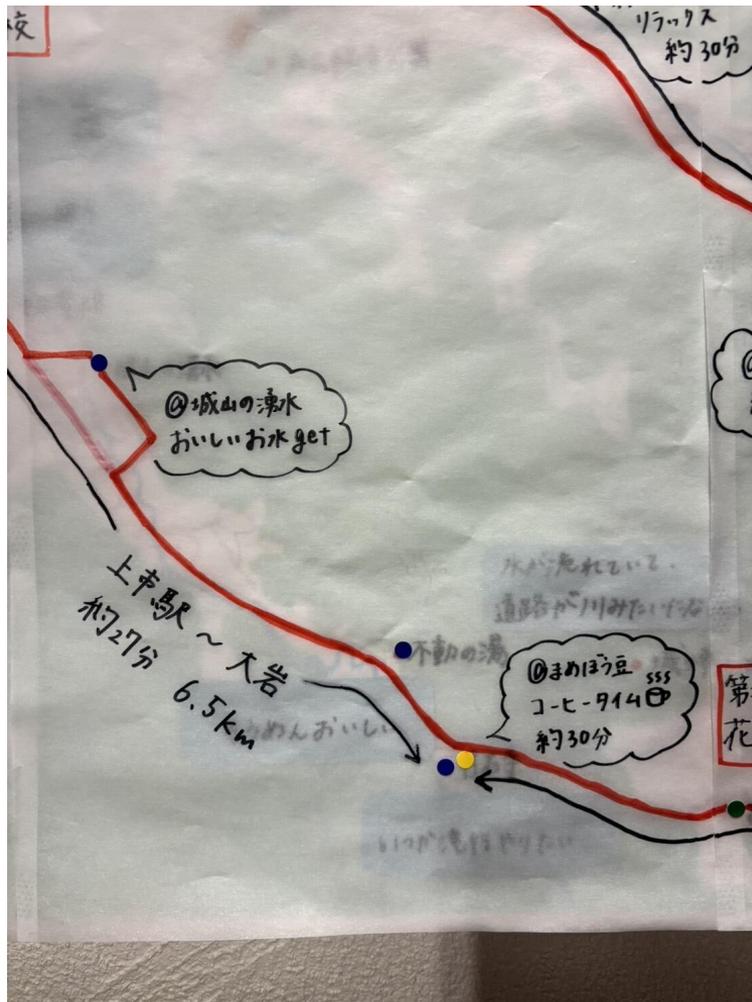
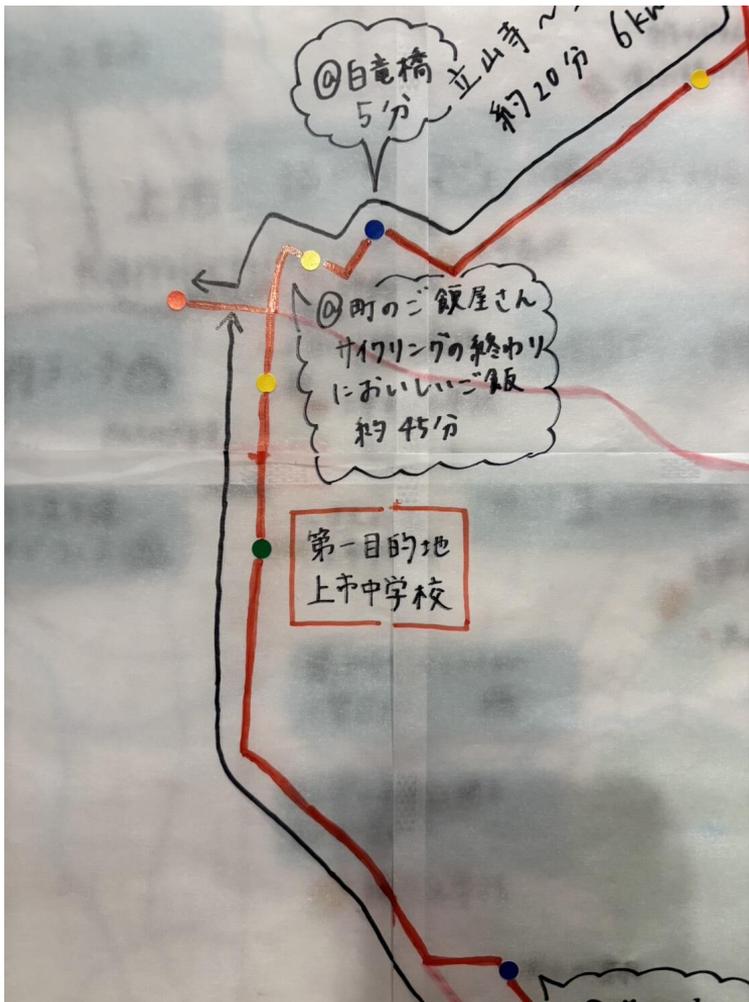
2月

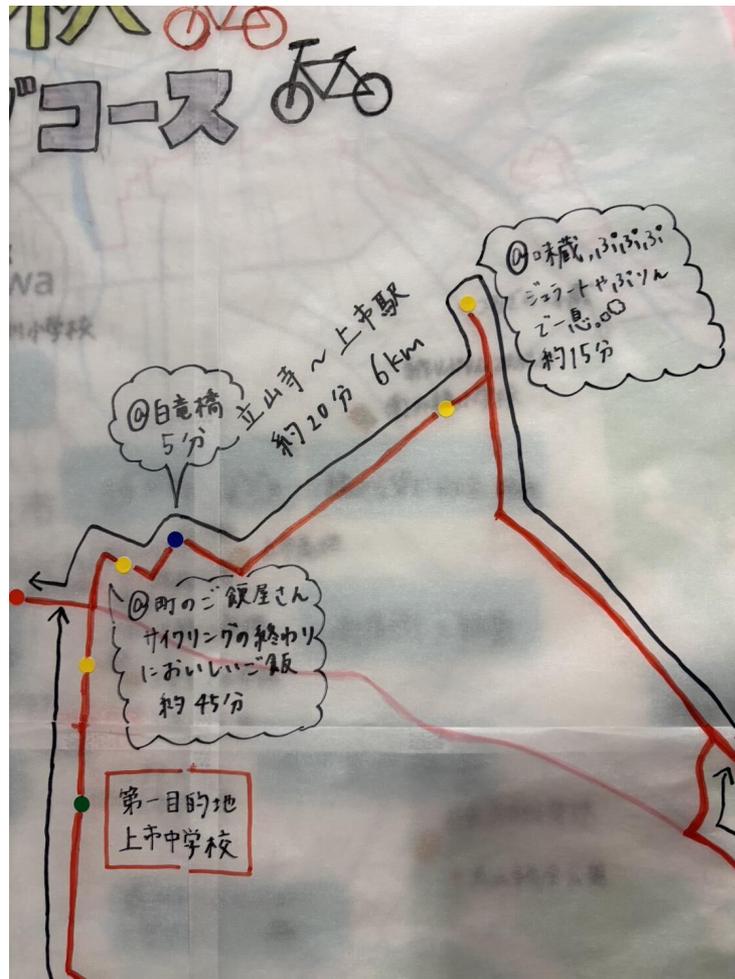
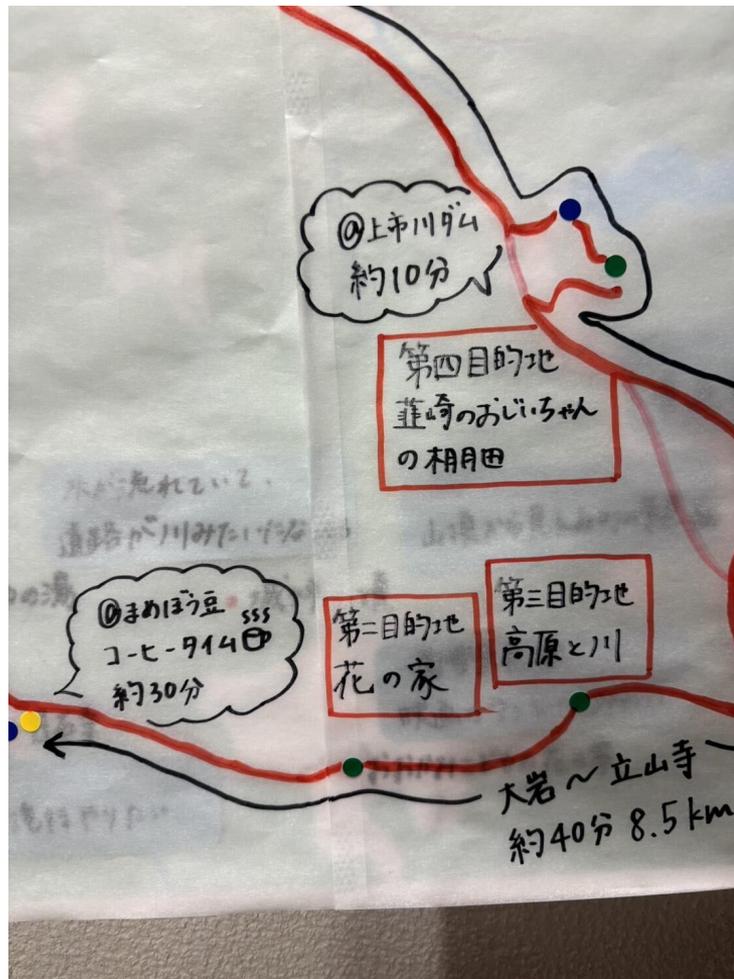
聖地巡礼スポットと、花たちの暮らしを垣間見れるような場所を組み合わせたサイクリングロード

+

滑川、立山も含めた電車を使って回れる聖地巡礼コース

安全面のため、
バスによるガイドツアー





提案の分類

外側

内側

地鉄の空間そのものを愛でる

車で通勤している
層の誘致

①ガタンゴトン・カタ
カタ

地鉄空間の新しい
活用方法の提案

②READ&RIDE

③ジャズ・
エクスプレス

ご清聴ありがとうございました。二週間、大変お世話になりました！

